

県福祉大会要望事項回答

令和7年1月27日、青森県庁を訪問し、東山会長から健康医療福祉部の守川部長へ青森県身体障害者福祉大会・青森大会において決議された4項目の要望事項を提出し協力を要請しました。

以下、守川部長から回答をいただきました。

1. 「県身協及び加盟団体連携による組織体制の強化について」

貴協会及び加盟団体の組織の強化に対する支援については、引き続き、各団体に期待される役割を踏まえ、県としてその必要性を検討すべきものと考えております。

2. 「障害当事者参画による障害関係施策の促進について」

県では、「住み慣れた地域で障害のある人もない人も分け隔てられることなく相互に人格と個性を尊重し、ともに暮らせる共生社会づくりをめざす」ことを基本理念として、令和5年3月に「第4次青森県障害者計画」を策定し、各種の取組を行っています。

当該計画の中で「障害者本人の意見を施策へ反映させるため、障害者に直接関わる各種審議会等委員への障害当事者、その家族の参画を推進する」こととしており、今後とも当事者参画に向けた取組を進めていきます。

3. 「全県下での障害者団体の活動の充実について」

貴協会の加盟団体以外の障がい者団体についても、各団体が考える活性化の方策に対し、県ができる支援について相談していただきたいと考えております。

4. 「全市町村での身体障害者相談員の配置について」

県としては、身体障害者相談員の地域における役割の必要性を十分認識していることから、今後も身体障害者相談員研修を実施するとともに、定数に満たない市町村に対し充足に向けた取組を働きかけていきます。

回答をいただいた後は、同席した、大橋副会長、名古屋副会長を含め懇談を行いました。



(守川部長と東山会長)



(懇談の様子)

車いす使用者用
駐車区画



優先駐車区画



青森県おもいやり駐車場サポートセンター

■受付時間■

火・水曜日・年末年始除く毎日

8:30-16:30

TEL 017-752-7343

FAX 017-752-7344

e-mail aomori.omoiyari@aa.wakwak.com

ホームページ <https://www.aomori-omoiyari.jp/>

令和7年度青森県身体障害者福祉協会事業計画

基本方針

平成28年4月、障害者差別解消法施行後、障害に対する理解促進が一層求められ、障害の有無にかかわらず、すべての人が支え合い、誰もが生き生きとした人生を享受する「共生社会」を目指しています。

この「共生社会」は、様々な状況や状態の人々がすべて分け隔てなく包摂され、障害のある人もない人も、共に支え合い、多様な個人の能力が発揮されている活力のある社会です。

また、障害者が望む地域生活を営むことができるよう「生活」と「就労」に対する支援の充実が求められています。

そのような中で、障害者の自立促進、県民の障害者に対する理解の深まり、加盟団体との相互交流の活発化が達成されるよう、市町村や関係団体と協力、連携し組織強化を目指していきます。

- 第1 障害者のニーズの把握に努め、社会福祉に関する情報収集・提供、啓発活動を積極的に行い、社会活動への参加と自立を推進していきます。
- 第2 障害者が心豊かに安心して生活できる社会を実現するために、他団体との連携を図ります。
- 第3 障害者スポーツ活動及び青年部活動などの活性化を図り、新規会員加入を促進しつつ、会員相互の親睦・結束を図ります。
- 第4 県身協の財源確保のため、収益事業等に積極的に取り組みます。また、賛助会員等の加入促進を図ります。
- 第5 「青森県身体障がい者福祉センターねむのき会館」の効果的、効率的な運営を図ります。
- 第6 災害時における障害者対応の防災対策の充実を図ります。

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
障害者福祉に係る研修会	令和7年上半年期	青森市 ねむのき会館
全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック大会	令和7年5月～6月	北海道・東北地区
日本身体障害者福祉大会	令和7年6月11日(水)～12日(木)	神奈川県横浜市
ねむのきボッチャ大会	調整中	青森市 ねむのき会館
青森県身体障害者相談員研修会	令和7年9月～11月	青森市・弘前市・八戸市
青森県身体障害者福祉大会	令和7年10月12日(日)	八戸市
全国障害者スポーツ大会	令和7年10月25日(土)～27日(月)	滋賀県
東北・北海道ブロック身体障害者相談員研修会	令和7年11月13日(木)	仙台市秋保温泉
ねむのき冬祭り	令和8年2月28日(土)	青森市 ねむのき会館
県身協会長杯ボッチャ大会	令和8年3月	青森市 ねむのき会館
地域福祉リーダー等研修会	令和8年3月	青森市 ねむのき会館

東北・北海道ブロック身体障害者相談員研修会に参加

令和6年10月18日、北海道札幌市ホテルライフオー札幌において、第30回東北・北海道ブロック身体障害者相談員研修会が、東北各県及び北海道から約80名の相談員の方々が参加して、開催されました。

この研修会は、東北・北海道ブロックに所属する道県及び政令都市で結成された身体障害者相談員連絡協議会が主管となり、相談員の資質向上や相互の情報交換を目的に、例年、各道県・政令都市の持ち回りで開催されています。青森県からは、蝦名良孝事務局長含め、身体障害者相談員5名が参加しました。

基調講演では、北海道防災会議委員・気象防災アドバイザーの住友静恵さんから「障がい者を災害弱者にしないために」をテーマに災害時の備え等についての重要性についてのお話しをしていただきました。

続いての意見交換では、「各県市の災害時における障がい者対応について」をテーマに各地域における取り組みを6名の方から発表いただき、意見交換を行いました。

参加された皆さん、お疲れ様でした。令和7年度は宮城県（仙台市秋保温泉）で開催される予定です。

東北・北海道ブロック 身体障害者相談員研修会に参加して



蝦名事務局長

それでは、私蝦名の方から今回の札幌の研修会について簡単にお話させていただきます。

最初に、北海道防災教育アドバイザー兼気象予報士の住友氏から、「障がい者を災害弱者にしないために」というお題で基調講演がありました。

これについては、今年度の青森県身体障害者相談員研修でも、弘前医療福祉大学短期大学部の中村直樹准教授からも、「災害時における障がい者の避難や日常の備え等について」と題して講演いただいているところです。

そこで私が深く思ったことがあり、そのことについて述べます。まずは、避難先と避難経路は事前に決めておくことです。そして、備蓄しておく品についてです。水とか食料品です。最低3日分、できれば一週間分くらいは必要です。それから、非常持ち出し袋です。中には現金などの貴重品、飲料水・非常食、着替え・下着、衛生用品、情報収集アイテム、避難用アイテム等が必要です。特に、私は頭を守るヘルメットは必需品だと思い購入しようと思いましたが。（そう思いながら、未だに購入しておりません。）それから、高血圧と糖尿病持ちの身では、お薬とお薬手帳の所持も必要です。お薬手帳の写しは、携帯電話で画面に残すことがお勧めです。（これもまだやっておりません。）

それから、2011年の東日本大震災を経験して身に染みているのは、携帯電話のバッテリー確保です。ソーラー充電器、モバイルバッテリー、手回しラジオなどの購入がすぐに必要だと感じています。

自分の身の回りに必要なものの紹介だけで字数がいっぱいになってしまいましたが、皆様も是非必要だと思ったものは購入し、身の近くに置いてください。

最後に、各県市の代表者による災害対応については、割愛させていただいて、私の大好きな懇談・交流についてお話しします。テーブルは、青森県の皆さんと秋田市の方との合い席でしたが、二胡の演奏などもあり大変和やかに交流が深められました。これが一番の楽しい思い出となりました。

「令和6年度青森県障がい児者総合福祉展」の開催

令和6年度青森県障がい児者総合福祉展は、青森市役所 駅前庁舎1階駅前スクエアで8月19、20、21日と11月18、19、20日の6日間開催されました。

同展は障がい者の社会参加意欲を促進するとともに、障がい者福祉に対する県民の理解と協力を広めることを目的に毎年開催しています。

11月の開催時は東奥日報に掲載され、翌日からの来場者が一気に増え、出展者の作品に対する思い入れを多くの方に伝えられたように感じました。

来年度、作品を展示・販売をしてみたいと思っている方は、青森県身体障がい者福祉センターねむのき会館（017-738-5033）までお問い合わせください。



(会場の様子)



(取材中)

令和6年度ねむのき会館文化教室

ねむのき会館文化教室は、障害がある人の生きがいのある生活をサポートするため、趣味的な活動を開催し、自立と社会参加の推進を図ることを目的に行われております。

今年度は絵手紙教室、クッキング教室、エコクラフト教室、こぎん刺し教室、韓国語教室を開催いたしました。絵手紙教室での受講生の作品は、「青森県障がい児者総合福祉展」で展示し、「作品が欲しい」と言われるほどとても評判が良いです。

来年度は「手話コーラス教室」を追加し開催いたしますので、受講したい方はねむのき会館までお問い合わせください。

お問い合わせ先 青森県身体障がい者福祉センターねむのき会館
TEL 017-738-5033 FAX 017-738-0745



(絵手紙教室)

令和6年度ねむのき会館障がい者スポーツ教室

この教室は、障がいのある人が日常生活の中でスポーツに親しみながら健康・体力の維持増進を図るとともに、継続的なスポーツ活動へつながるように、また、仲間づくりや教室終了後の余暇活動の幅を広げることなどを目的として行われております。

心身をリラックスさせて健康増進を図る「ヨガ教室」や視覚障がい者用に開発された「サウンドテーブルテニス教室」、パラリンピック種目である「ボッチャ教室」など様々な教室を開催しております。

興味のある方はねむのき会館までお問い合わせください。また、ねむのき会館ホームページの「お知らせ」でスポーツ教室の案内を致しておりますので、ぜひご覧ください。

お問い合わせ先 青森県身体障がい者福祉センターねむのき会館
TEL：017-738-5033 FAX：017-738-0745



(トランポリン教室)

障がい者
110番
017-764-2941



017-764-2942
TEL:017-764-2941
FAX:017-764-2942

障がい者のための何でも相談

障がい者110番

＝受付時間＝
火曜・祝日・年末年始を除く毎日
10：00～16：00

ふくいちばん
TEL:017-764-2941
FAX:017-764-2942



青森県障がい者差別解消相談窓口

＝受付時間＝
月曜・水曜・金曜及び、第3日曜日

10：00～16：00

※祝日・年末年始を除く

さべつせろ
TEL：017-728-3820

FAX：017-764-2942